

北海道建設新聞

交通安全地蔵尊 周辺を除排雪

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広、宮坂寿文社長)は14日、帯広市大正町の交通安全地蔵尊周辺で除排雪作業をした。周囲を走る車からも地蔵尊がよく見えるようにと、高く積もった雪を取り除いた。写真。

付近を走る帯広広尾自動車道建設を担当していた2004年冬に、新西国三十三番観世音菩薩交



交通安全地蔵尊と呼ばれる、この地蔵群が雪に埋もれてしまっているのを見て、除排雪を申し出たのが始まり。以来、毎年恒例のボランティア活動として定着している。

この日は、社員6人にタイヤシヨベル1台、ダンプ3台が出動。午前8時半から2時間半ほど作業した。

交通量の多い道道帯広空港線と市道との交差点にある地蔵群は、道行くドライバーに安全運転を訴えているように見える。参加者の一人で、04年当時に工事を担当していた今野敦土木部工事課長は「冬はどうしても雪が積もって地蔵が見えなくなる。通る人が見ることのできる環境をつくり、安全意識を高めてもらうことに役立てば」と話していた。